

# 農政なら

編集・発行  
奈良県農業会議(奈良市登大路町・県庁内)  
TEL 0742-22-1101(内線5623~9)  
FAX 0742-24-8576

トピックス

## 令和3年度 全国農業委員会会長代表者集会が開催される



令和3年12月2日（木）東京都港区の「メルパルクホテル」において、全国農業会議所の主催により、令和3年度全国農業委員会会長代表者集会が開催されました。本県における今回の集会への参加は新型コロナウイルス感染症の影響からweb参加となりました。冒頭、全国農業会議所の國井正幸会長は、「私達農業委員会組織は、活動の実態とその成果の見える化を図りつつ、農地中間管理機構等組織との連携を一層強化し、『人と農地』の問題について地域の皆さんとの話し合いを促進し、将来に向かって希望が持てる農業・農村を実現していかねばなりません。組織一丸となつて『農地利用の最適化』に全力で取り組みましょう」と挨拶しました。

その後、全国農業会議所の柚木専務理事が、人・農地関連施策や令和4年度予算関係、規制改革実施計画に

関する情勢報告を行い、第1号議案「人・農地など関連施策の見直し」に関する要請決議に向けた説明を行いました。また、第2号議案「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」の推進と、第3号議案「情報提供活動」の一層の強化に関する申し合わせ決議を稻垣事務局長が説明し、全議案が採択されました。

「農業委員・農地利用最適化推進委員の活動記録の取り組み」と題して、佐賀県神埼市農業委員会の西村睦雄会長から、あぜ道や立ち話は立派な聞き取り活動で、現場活動しているからこそ出来る取り組み。これらの活動もきつちり記録し、事務局に報告しているとの活動事例報告が行われました。

また「地域まるっと中間管理方式の導入について」と題して、魅力ある地域づくり研究所代表の可知祐一郎氏による基調講演が行わ

# 女性委員による活動強化に向けて 「なら農業委員会女性委員の会」が 研修会・活動検討会を開催

「なら農業委員会女性委員の会」（壺井和子会長）は12月16日（木）に桜井市の

会を増やして取り組んでいく  
きたいとの意見も出されま  
した。

「東海近畿ブロック女性の農業委員会研修会」の様子を会場にて動画配信しまー

に、全国農業新聞や全国農業図書、農委により情報を提供活動の最有力ツールにして、毎月の農業

化の観点からもその重要性がさらに高まっている考え方られます。

動が出来ない見通しとなる中、次年度以降、会としてどの様な活動を行うかを検討しました。様々な意見が出される中で、非農家の女性を対象に農業への理解を深めてもらう為の研修会の実施に向け、企画していくこととなりました。また、会員での意見交換を行う機

農業委員会法6条3項には、農業委員会の情報提供活動が明記されています。「全国農業新聞」「全国農業図書」「農業委員会だより」を活用して農業委員会業務と農業の動きについて情報提供していくことが重要で、農業委員会法で最重点に位置づけられた「農地利用

## 農業委員会の 「情報提供活

## 活動

員会の組織情報誌で、全国農業会議所が発行しています。「農業委員会等に関する法律」の第6条第3項には農業委員会の情報提供活動が明記されていますので、「全国農業新聞」を活用して農業委員会業務と農業の動きを情報提供していくま

「全国農業委員会会長代表者集会」の際にも、農業委員、農地利用最適化推進委員1人毎年2部以上の新聞購読申込者を確保するよう申し合わせが決議されました。

# 全国農業新聞の読者を増やそう ～農業委員会と農業者・

地域との絆づくり

全国農業新聞は、農業委  
12月2日に開催された

「全国農業委員会会長代表者集会」の際にも、農業委員会員、農地利用最適化推進委員1人毎年2部以上の新規購読申込者を確保するよう申し合わせが決議されました。

全国農業新聞の読者を増やし、地域の農業者との絆づくりに務めましょう。

業委員会業務と農業の動向を情報提供していくまでも、農業委員会の情報提供活動が明記されていますので、「全国農業新聞」を活用して、

う。

の最適化の推進は、各地の先進的・特徴的な取り組み化を推進するよう求められています。

## 担い手の経営能力向上を図る 令和3年度「農業簿記講習会」を開催

将来農業の担い手になりうる農業研修生や新規就農者等に対し、農業経営力の向上を図るために必要な能力を習得してもらうため、奈良県と県農業会議は、令和3年度「農業簿記講習会」を開催しました。この講習会は、奈良県農業研究開発センターとなら食と農の魅力創造国際大학교池之内校舎を会場とし、11月19日から12月3日にかけて開催しました。

新規就農者や新規就農に向けて研修中の者、なら食と農の魅力創造国際大학교の学生、その他農業経営改善のため農業簿記を取得しようとする者を対象に、3回の基礎講座と、実践講座としてパソコンを用いた講座を連続講座とし、ソリマチ（株）と中島会計事務所より専門講師を招き実施しました。今年度は、延べ140名の参加を頂きました。

新規就農者や新規就農に向けて研修中の者、なら食と農の魅力創造国際大학교の学生、その他農業経営改善のため農業簿記を取得しようとする者を対象に、3回の基礎講座と、実践講座としてパソコンを用いた講座を連続講座とし、ソリマチ（株）と中島会計事務所より専門講師を招き実施しました。今年度は、延べ140名の参加を頂きました。

第1回基礎講座では、複式簿記入門として、農業経営の基礎的な考え方や簿記の全体の流れといった内容を受講していただきました。第2回基礎講座では、複式簿記の基礎として記入のルールについて専門講師を招いて実施しました。その内

容を踏まえて第3回基礎講座では、決算書の作成について受講していただきました。第4回実践講座では、農業簿記ソフトを使用した取引入力方法について、実際にパソコンを操作しながら受講していただきました。

## 県下での就農・就業者の確保に向けて 「なら就農相談フェア」を開催

奈良県下への就農・就業のマッチングに向け、11月29日に奈良市の奈良県文化会館で「なら就農相談フェア」を開催しました。この取り組みは、県農業会議並びに奈良県、奈良県農業法人協会、奈良県農業経営者サポート協議会の4者の共催で、日本政策金融公庫奈良支店と（株）マイナビによる

会員である農業法人をPRするプロモーション動画を自身のYouTubeチャンネルで発信しています。動画では、インタビュー形式で、各社の取組みや課題、今後の目標等を紹介しています。

▼奈良県農業法人協会  
YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCMbo7Oe9kbpMeHZYndPSgPA/featured>

関5団体が就農希望者の相談にありました。

当日は、昨年比3名増の49名の方に参加頂きました。農業会議のブースには20名の訪問及び相談があり、県内のインターネットショッピングや就

農情報などの提供を行いました。また、なら食と農の魅力創造国際大학교から7名の学生が参加し、自身の将来の就業に向けて情報収集を行っていました。

## 【奈良県農業法人協会】 YOUTUBEで農業法人PR

も後援していただきました。求人相談ブースでは、（農）滝谷花しようぶ園（有）、「（有）山口農園」「（有）アグリ」、奈良市の「月ヶ瀬健康ア」を紹介しています。

ぜひご視聴いただきチャンネル登録&動画への「いいね」をよろしくお願ひします！



現在、宇陀市の「花の郷滝谷花しようぶ園（有）」/channel/UCMbo7Oe9kbpMeHZYndPSgPA/featured

五條園芸、堀園芸（株）、（株）堀内果実園、花の郷滝谷花しようぶ園（有）、（有）山口茶園（株）」「（株）空土」「はとむぎ（株）」、山添村の「（有）J1・タケダファーム」「（有）J1・タケダファーム」の計7社の動画がアップされています。

今後も県内農業法人の動画を随時アップしていきます。

## ”農“へのメッセージ



本村農業委員会では何とか農地を守つていけないかと考え、同じ中山間地域で活動している三重県の集落へ視察に行かせていただきました。地域での農地に対する取り組みや運営の状況などを聞かせていただきました。これがきっかけで地区の推進委員が代表となって岩屋地区、毛原地区で『地域の農地は地域で守る』をスローガンに「ひがしとよ農業組合」が立ち上がりました。現在では10ha農地を守つていただいています。別の地区でも集落幹作物となっています。

山添村農業委員会会長 色雲 辰樹  
山添村は奈良県の北東端に位置し、大和高原と呼ばれる地域の一角で、東部は三重県伊賀市及び名張市、北部及び西部は奈良市、南部は宇陀市に隣接する中山間地域です。水稻と茶が基幹作物となっています。しかしながら中山間地域ということもあり、棚田状の水田や傾斜地の茶畑がほとんどであり農地の条件が悪く、農業者の高齢化や人口減少が進み、猪・鹿・猿などの獣害も深刻で遊休農地が増え続けています。

當農組織立ち上げの話があり、こういった活動が他の地区にも拡大し、農業委員・推進委員が中心となつて各地区で守ることを考え、地域での取組が進んでいくばかりであります。これが

本村農業委員会では何とか農地を守つていけないかと考え、同じ中山間地域で活動している三重県の集落へ視察に行かせていただきました。地域での農地に対する取り組みや運営の状況などを聞かせていただきました。これがきっかけで地区の推進委員が代

山添村農業委員会  
会長 色雲 辰樹

本村農業委員会では何とか農地を守つていけないかと考え、同じ中山間地域で活動している三重県の集落へ視察に行かせていただきました。地域での農地に対する取り組みや運営の状況などを聞かせていただきました。これがきっかけで地区の推進委員が代

山添村農業委員会会長 色雲 辰樹  
山添村は奈良県の北東端に位置し、大和高原と呼ばれる地域の一角で、東部は三重県伊賀市及び名張市、北部及び西部は奈良市、南部は宇陀市に隣接する中山間地域です。水稻と茶が基幹作物となっています。しかしながら中山間地域ということもあり、棚田状の水田や傾斜地の茶畑がほとんどであり農地の条件が悪く、農業者の高齢化や人口減少が進み、猪・鹿・猿などの獣害も深刻で遊休農地が増え続けています。

當農組織立ち上げの話があり、こういった活動が他の地区にも拡大し、農業委員・推進委員が中心となつて各地区で守ることを考え、地域での取組が進んでいくばかりであります。これが

本村農業委員会では何とか農地を守つていけないかと考え、同じ中山間地域で活動している三重県の集落へ視察に行かせていただきました。地域での農地に対する取り組みや運営の状況などを聞かせていただきました。これがきっかけで地区の推進委員が代

本村農業委員会では何とか農地を守つていけないかと考え、同じ中山間地域で活動している三重県の集落へ視察に行かせていただきました。地域での農地に対する取り組みや運営の状況などを聞かせていただきました。これがきっかけで地区の推進委員が代

## 農業会議だより

農地中間管理事業をフル活用！「地域まるっと中間管理方法」とは？

農地の集積・集約化はじめ、担い手の確保・育成や魅力ある地域づくりを実現する手法として注目を集めている「地域まるっと中間管理方式」。

この方式は、地域の農地をまるごと農地中間管理事業で管理して守つていこうとするもので、全国に広がりを見せています。本書では、取り組みの方法を実際の事例を挙げながら実践的に学ぶことができます。

執筆者は元・愛知県農地中間管理機構理事長の可知祐一郎氏。……700円

『農地利用最適化』から  
『新たな農地利用最適化』へ  
『県農業会議関係会議日程』

1月24日  
・農地中間管理事業推進農地利用最適化研修会  
2月2日  
・常設審議委員会

1月26日  
・常設審議委員会

2月12日  
・農地利用最適化研修会  
2月24日  
・農のマッチングフェア  
・奈良県農業会議 理事会

推進委員には農地利用最適化活動に対する一層の期待が寄せられるようになります。

農業従事者の高齢化や耕作放棄地の発生が問題となる中、これから日本の農業を守り、次世代につないでいくためには、農業委員・推進委員の活動が必要不可欠です。

本書では、農地利用最適化をめぐる情勢と取り組みの実績・課題、また、農地の見守り活動や仲間への声掛け活動を起点とする新たな農地利用最適化について、図表を用いてわかりやすくまとめられています。

……700円

改正農業委員会法施行から5年が経過し、農業委員会

・常設審議委員会  
3月2日

・奈良県農業会議 理事会